

第七回映画上映会（兼第45回弘明寺サロン）開催記

平成28年2月13日

とき : 2016年2月13日(土) 14時~16時
ところ : 第7講義室
出席者 : 36名(映画上映会)
18名(弘明寺サロン) 16時~16時半
上映映画名 : ビルマの豎琴

映画の上映までの 約30分 懐かしい文部省唱歌(?)が スクリーンに歌詞と共に映写され
みんなで斉唱、里の秋、荒城の月、箱根八里、旅愁、おぼろ月夜、
殖生の宿・・・次々と みんな声をあげて歌いました。
いつまで歌うのかな、と思うほど次々と、です。
最後は お約束の「学歌」で終わりました。



司会の寺村さんが「今歌っていただいた唱歌などは すべて
映画の中で 歌われていた歌です」と解説されたとき、はじめて
こ憎い演出に気付く始末。 映画上映に先立って、行き届いた配慮
に主催者の思いが伝わり 深く感心するオープニングで上映開始。

「ビルマの豎琴」は1946年に 竹山道夫氏が児童雑誌に掲載した
児童向けの作品だったとのこと、 市川崑監督により二度、映画化
されている。 一回目は安井昌二氏の水島上等兵、三国連太郎氏の
井上隊長、筆者もリアルタイムではないが 安井上等兵も中井貴一
上等兵も見ています。 それにしても 昔の子供たちは このような
内容の雑誌を読んでいたことに驚く。 1946年という終戦直後の
時代背景の素地のもとに 国を愛する
純粋な子供たちが目に浮かぶ。



映画会終了後 18名が場所を変えて
見終わったばかりの映画の感想などを
語り合う弘明寺サロン会場へと移動。
水島上等兵のモデルは実際にいたの
か、二回のリメイクの映画の解釈の
違い、など話題の尽きないサロンで
あった。

次回の第8回映画上映会は8月13日
第45回弘明寺サロンは4月9日です。多数の参加を宜しくお願いします。

(記録: 万場由美子)



第7回、映画上映会のお知らせ！
タイトル: ビルマの豎琴
兼2月弘明寺サロン

日時: 2016年2月13日(土) 14:00~17:00
会場: 放送大学駒宮山平室センター 第7講義室
上映: 「2月弘明寺サロン」を創設します

解説
立派な戦争映画、日本版の歴史を記述する。情報としてビルマで活躍した兵士の話を聞く、竹山道夫の戦時小説の28年ぶりの再版化、脚本、制作費、監督、市川崑監督と関わりなど。

入場無料 事前申し込み不要
どなたでも参加できます。直接会場にお越し下さい

主催: 放送大学学生会実行委員会
後援: 放送大学学生会実行委員会 映画研究委員会 寺村 龍夫、竹山 道夫、水島 道太郎、井上 敏夫、三国 連太郎、中井 貴一、安井 昌二、市川 崑